



JTUC-TOKUSHIMA 連合徳島

vol. 306

〒770-0942 徳島市昭和町3丁目35の1
徳島県労働福祉会館内
tel. 088 (655) 4105
fax. 088 (655) 4113
E-mail info@tokushima.jtuc-rengo.jp
http://tokushima.jtuc-rengo.jp/

発行：日本労働組合総連合会徳島県連合会

編集責任者 島 和 久



当面の日程

- ◎ 8月9日(金) 「クラシノソコアゲ応援団！ RENGOKAMPAIN」(JR徳島駅前)
- ◎ 8月23日(金) 第30期部落解放・人権講座(県職員会館)
- ◎ 8月24日(土) 第3回ボランティアサポート養成講座(徳島県立防災センター)

「連合の森」親子サマーキャンプ

30本の苗木(もみじ)を植樹 山と自然に親しみ、地球環境を考える

地球環境の保全と環境にやさしい街づくり、地域づくりをめざす連合徳島は、2019年7月27日～28日の2日間、美馬市木屋平の中尾山高原・平成荘にて、ボランティアサポートチーム養成講座オプショナルでもある「連合の森・親子サマーキャンプ」を開催し、連合徳島構成組織組合員等の家族ら98名(大人44名・子ども38名)が参加した。

開会式とオリエンテーリングが体育館で行われ、主催者を代表して、連合徳島新居会長から「連合の森・親子サマーキャンプ」で、家族と一緒に山の自然と親しんでもらうとともに、組織を超えての交流を深めていただきたい」と述べた後、四国森林管理局徳島森林管理署の川上署長からも挨拶を頂いた。昼のイベント①は、徳島森林管理署・安光さんから、「森のはたらきのお話」の講演をしていただき、子どもたちは興味深く聞き入っていた。

2日目は、連合徳島新居会長の挨拶の後、徳島県西部総合県民局農林水産部木本課長より植樹の仕方と注意事項の説明を受けた後、家族グループ毎に30本の苗木(もみじ)を植樹するとともに、鹿対策の防護ネット(クワンタイ)を取り付け、メッセ

ジナルの貯金箱を作成した。夕食のバーベキューは、11班に分かれて行い組織を越えて交流を深めた。夕食中には子ども対象のくじ引き大会で盛り上がり、夕食後には花火で喜ぶ声が出た。2日目は、連合徳島新居会長の挨拶の後、徳島県西部総合県民局農林水産部木本課長より植樹の仕方と注意事項の説明を受けた後、家族グループ毎に30本の苗木(もみじ)を植樹するとともに、鹿対策の防護ネット(クワンタイ)を取り付け、メッセ

「クラシノソコアゲ応援団！ RENGOKAMPAIN」徳島駅前行動を2019年7月2日に、JR徳島駅前、各構成組織等から40名が参加し、街頭宣伝・ビラ配布活動を実施した。

冒頭、連合徳島新居会長から「日本における恒常的な長時間労働を原因とした過労死や過労に伴う心身の疾患については2000年から急激に増え続け、特に精神障害の労災認定件数は

2000年36件だったものが、2012年(7年前)に400件を突破し、昨年2018年は465件と高止まりが続いている。長時間労働が常態化している職場では、生産性が低下するばかりでなく、労働者の心身の健康状態に悪影響を与え、現場作業の安全性が低下することは明らかである。政府もこの長時間労働がもたらす弊害を労働現場からなくすために「働き方改革」

県民にアピールを行う弁士ら

木工教室ではオリジナル貯金箱を作成



夕食・交流会はバーベキューを実施



協力して植樹

西部地協

第20回夏休みフェスティバルを開催 自然とふれあい、家族で夏の思い出に

2019年7月28日、毎年恒例の「連合徳島西部地域協議会第20回夏休みフェスティバル」を開催し、622人が参加した。

細田博樹西部地協議長が主催者代表挨拶。その後、来賓挨拶として島和久連合徳島事務局長と三好市議会議員を代表して天羽強市議が挨拶。

アメゴつかみ取りは、生簀を修理したため、今年アメゴが前日から1匹も逃げ出すことなく、当日はたくさん

2000年36件だったものが、2012年(7年前)に400件を突破し、昨年2018年は465件と高止まりが続いている。長時間労働が常態化している職場では、生産性が低下するばかりでなく、労働者の心身の健康状態に悪影響を与え、現場作業の安全性が低下することは明らかである。政府もこの長時間労働がもたらす弊害を労働現場からなくすために「働き方改革」



アメゴつかみ取り



楽しい抽選会

第25回参議院選挙連合推薦候補者は選挙区で18名、比例区で8名の当選となりました。構成組織・地域協議会の役員・組合員の皆様に心からお礼申し上げます。

が登壇し、「公務職場の長時間労働問題」「連合徳島青年委員会の活動報告」「教育費負担と奨学金問題」「正規社員とパート・契約社員との賃金格差問題」「働く者のための働き方改革の必要性」を訴えた。